

企業版ふるさと納税を活用した 山形市課題解決への取組

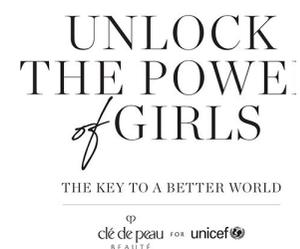


資生堂ジャパン(株)
24年2月13日

資生堂“SOCIETY”への取組



※女性活躍推進取組の一部事例



OUR MISSION is
BEAUTY INNOVATIONS FOR A BETTER WORLD

山形市×リディラバ×資生堂日本の連携



山形市で生活する女性が抱える悩みや課題を自ら解決することを目指す探求型プログラムを実施することにより、地域で活躍する女性リーダーを養成し、「女性が輝くまち」山形の実現及び若年女性の地元定着を図る

女性が輝くまち・山形を目指した共同プロジェクト

・女性活躍を支持しコミットする企業としての社会貢献

・女性の地元定着促進
・女性活躍による地域活性化
・行政と市民で持続的な事業運営できる仕組み構築

・行政と企業、市民をつなぎ社会問題の解決を促進

資生堂

・女性活躍先進企業としてのノウハウ
・「化粧の子カラ」体験によるワクワク感の醸成

×
企業版ふるさと納税の活用

山形市

・女性人材の掘り起こし
・若年女性の人口流出への対応

×
包括連携協定

Ridilover

・社会問題の専門家としての知見
・人材育成のノウハウ

公民包括連携

山形市が目指すビジョン（当事業や政策で目指す状態像）

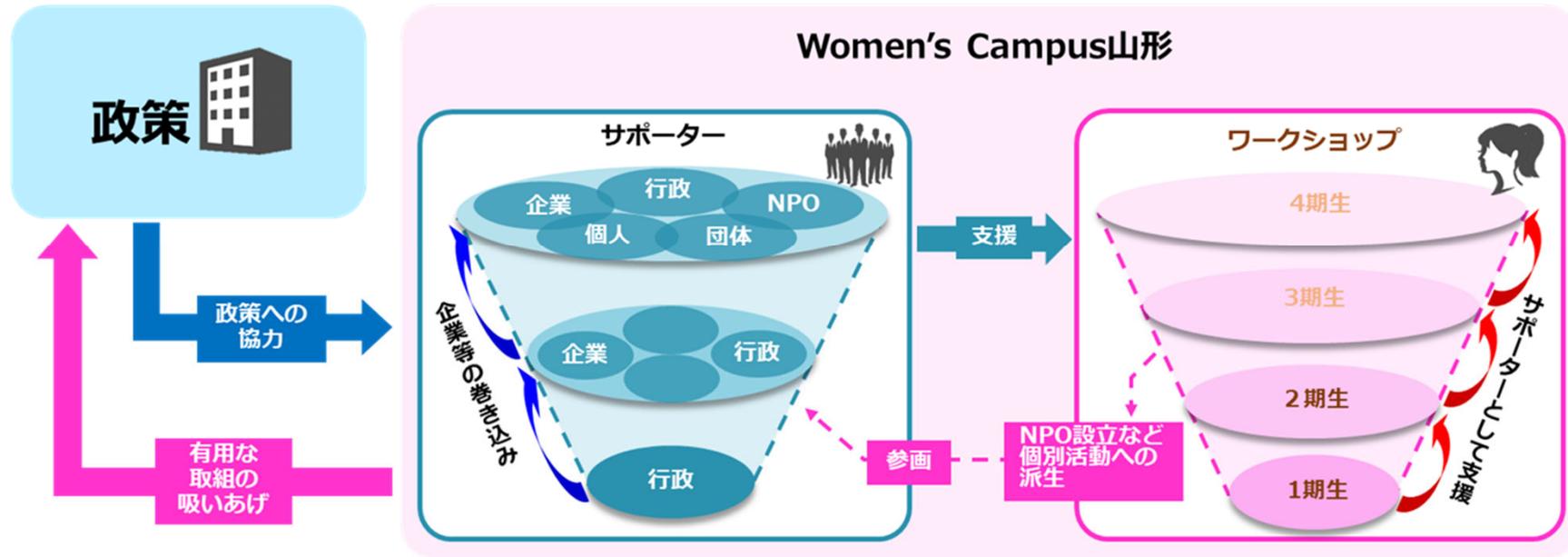
地域活性化・産業振興

“女性が輝くまち山形”の実現



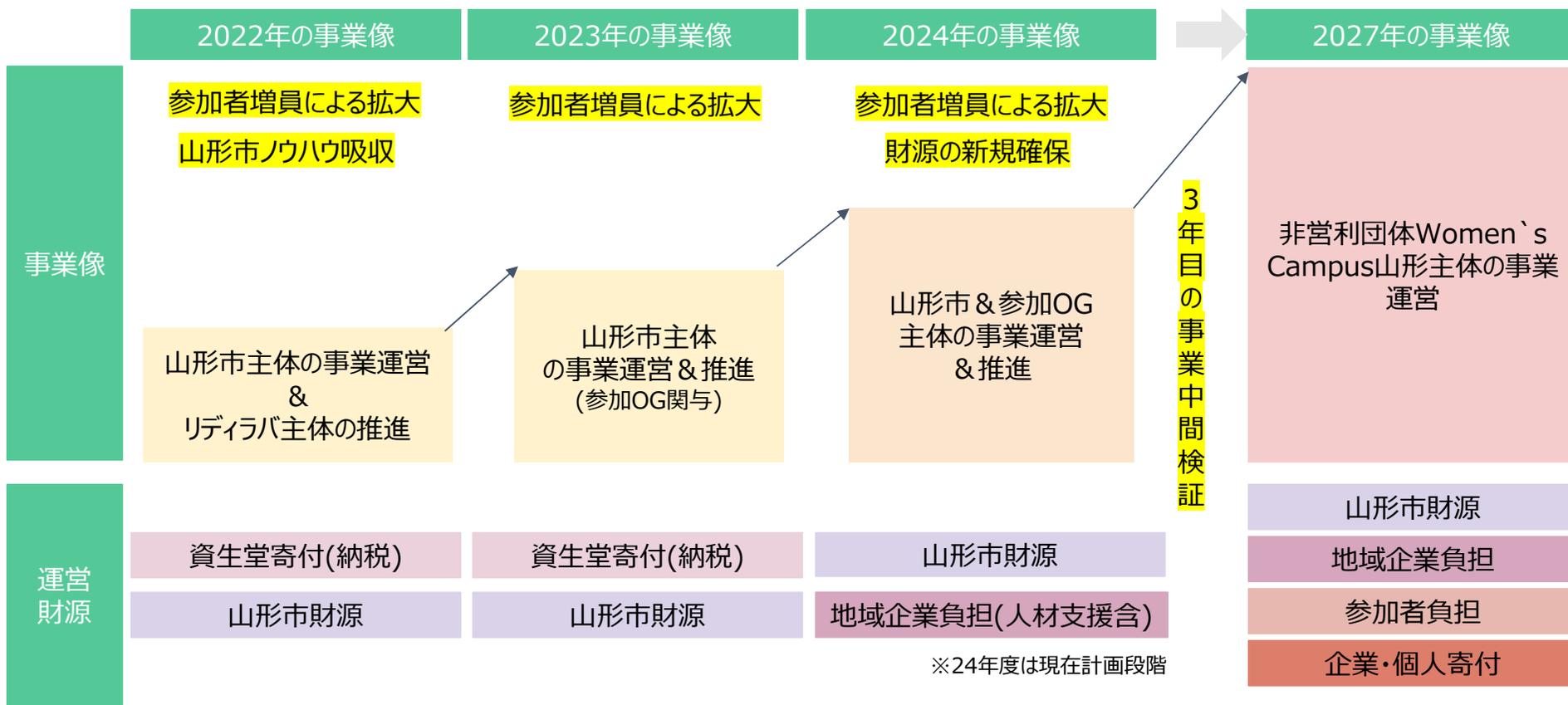
女性の地元定着

意思決定の場への女性参画（女性管理職・地域で活躍する女性リーダーの増）
・人材の掘り起こし ・女性人材の育成



Women's Campus中期プラン

企業版ふるさと納税による財源でスピーディーに事業運営基盤を構築し、地域企業や参加者による財源確保の割合を増やし、山形市主体の運営から参加者OG・非営利団体主体の運営に転換しながら、持続性の高い運営体制を目指しています



22/23年“Women’s Campus”取組

“山形市に暮らす & 働く女性が、自分たちの手でサステナブルな地域をつくる”をテーマに運営側が課題を提示せず参加者がチームを作り、身近に感じる課題を設定・企画構築・集客・推進までを完遂するスキームで実施

23年タイムライン



資生堂の取組

トップセミナー



D & Iを実現した組織の強みと「女性がイキイキと活躍できる会社」等経営者向けトップセミナーへの参画
山形市出身：資生堂副CPO 芦田 (22年・23年実施)

ビューティーセッション



「化粧のチカラ」体験を通じたワクワク感の醸成を肌で感じてもらう
資生堂ビューティーセッション (22年実施写真・23年実施)

ワークショップメンター



参加者の課題把握、アクションプラン策定、推進のサポートを行うメンターの実施 (22年実施写真・23年実施)

アクションデイ



アクションデイの協働取組 (22年実施写真)

★Women's Campus

① 2期生(23年参加者) : 5つのイベント実施 1期生(22年参加者) : 4つのイベント実施

一例:女子高校生と地元企業若手社員の交流会

:新時代「働き方」の作り方。自分らしい「働き方」を考える

⇒参加者が山形市で生活する中で感じた身近な課題を自ら解決するためのアクションを実現

② 23年取組関与企業数 97社(24年1月末時点) 目標 : 100社以上 ※24年2月に最終イベント実施予定

③ 1期生が新規事業立ち上げに成功

★持続的な事業運営をできる仕組み構築

④ 山形市“働きやすさ追求室”の新設

⇒これまで別々の施策として実施してきた「雇用労政」「女性活躍推進」「移住定住」「企業DX推進」の取組を関連付けて「働きやすい山形の職場」を推進することで、地元企業の魅力向上、若者人材の地域密着につなげる

⑤ 長期KPIの設定とインパクト評価の筋道を構築し、本事業の予見可能性を可視化

⇒事業活動によって生じる社会的な変化と開示に必要なインパクトを

山形市で目指す創出したいインパクトから逆算しながら指標設定し、将来への予見可能性を可視化

最後に

SHISEIDO
JAPAN

